

継続的専門能力開発(CPD)認定登録書(参加学習型)

プログラム番号	
教育形態	セミナー
プログラム名	品質管理セミナー 品質管理実践コース
主催者(団体)	一般財団法人日本規格協会
協賛・後援	
開催日程	詳細につきましては、日本規格協会ホームページをご覧ください。
総時間	約 25 時間
開催場所	
対象者	<ul style="list-style-type: none"> ・生産(製造)部門、品質管理・保証(検査)部門、生産技術部門、購買・外注管理部門の方 ・班長・リーダー・職組長(監督者)・係長・責任者・課長で、現在の担当者及び今後これらの職種を目指す方 ・1)、2) の部門責任者となっていく人材育成を目指す方 ・QC 検定 3 級以上の知識を有している方、また当協会の「QC 入門コース」及び「通信講座 QC 入門コース」を受講した方 ・設計・開発部門の方で生産準備段階以降の品質管理・品質保証の流れを理解したい方
定員	
題目	
プログラム(次第)	<p>【1月目】</p> <p>《第1日目》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・品質管理実践の基本 ・量産段階の品質管理 ・改善活動 ・統計的データ解析の基礎 <p>《第2日目》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・検定と推定 ・演習 ・宿題 <p>【2月目】</p> <p>《第3日目》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・管理図 ・抜取検査 ・2変数の間の関係 <p>《第4日目》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設計段階から生産準備段階の品質管理 ・演習
内容	<p>本コースは、外部や社内教育等で一度は品質管理手法を学ばれた方で、上記のような問題/悩みを抱えられた方々を対象に、実際の場で応用能力を高め</p>

	<p>ていただくコースとして開発され、2016年度よりさらにわかりやすく4日間(2日間×2か月)でリニューアルいたします。</p> <p>本コースの特徴は、</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 実践力をつけるために、実際に現場で日常的に起こる問題を想定しながら、それに対する問題解決に最適な品質管理手法を他社の方々とのグループ学習による体験学習ができます(PCを用いた演習を行います)。 2. 学習したQC七つ道具の手法以外にも現場でよく使用される手法(検定推定・相関回帰分析・抜取検査)について活用から問題解決に向けたアプローチ方法を演習や事例を交えて学習できます。 3. 現場のものづくりの第一線で活躍される方々が、ものづくりの全体を理解できるよう、製品設計から生産準備段階、量産段階までの品質管理・品質保証について、体系立てた講義を行います。 <p>これらの内容を4日間という短期間のプログラムで構成しており、自社における品質管理・品質保証の業務の流れを理解したい方、品質管理の実践力を高めたい方、問題解決力を高めたい方におすすめします。</p>
プログラムの目標	
CPD点数	80点
料金	一般：¥77,760<税込>、日本規格協会 維持会員：¥70,200<税込>
備考(問い合わせ先)	<p>一般財団法人 日本規格協会 研修ユニット</p> <p>TEL:03-4231-8570 FAX:03-4231-8675</p>
詳細URL	https://webdesk.jsa.or.jp/seminar/W12M1010/index/001/003/005